

障害などが不利益にならない大学生活を！

何かしらの支援があれば上手く行くかも・・・
そんな風に考えたことはありませんか？
○障害その他の理由で困難を感じている方の相談に応じ、様々な大学資源へのアクセシビリティの高い大学を目指します。
教職員や各部署と連携して、困難さに応じた配慮を検討します。

授業支援

聴覚障害のある学生

教員による視覚資料配布、ノートテイク
教員によるデジタル送信機着用
映像の字幕つけなど

視覚障害のある学生

音声データの提供、資料の拡大
拡大読書器の設置など

発達障害のある学生

教員によるグループワーク時における
本人の特性に応じた配慮など

授業以外でも

○奨学金の説明会への参加
○進路に関わる学内講習会への参加
○図書館の利用など
障害などが障壁とならないように合理的配慮による支援をコーディネートします。

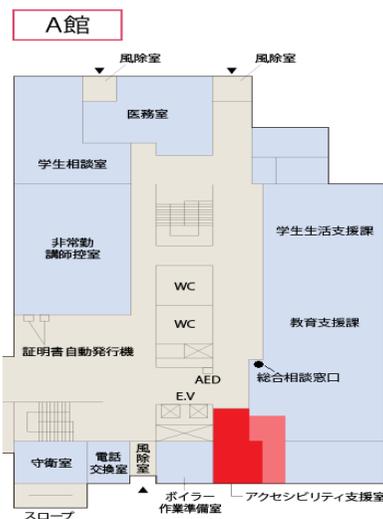
…開室時間…

(平日) 08:45-11:30
12:30-17:00

★11:30-12:30 昼休み閉室
(土日祝と大学休業日は閉室)

…受付窓口…

スタッフ不在の場合は、教育支援課職員が対応します。
プライバシーに十分配慮し、希望があれば面談時には個室を使用します。



北星学園大学

アクセシビリティ支援室

〒004-8631

札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号

電話: 011 (891) 2731 (代表)

E-mail: acc-support@hokusei.ac.jp

2021.04

北星学園大学 アクセシビリティ 支援室

障害 その他の理由で困難を感じている
方への支援をコーディネートします



相談スタッフ紹介

室長 : 鈴木 克典 教授

教員 : 田辺 毅彦 教授 (臨床心理士)

コーディネーター (CSW) : 北野 麻紀

教育支援課 : 清野 水香

どのような「支援」が受けられるのですか？

状況に応じて個別・具体的に相談し支援内容を決定
たとえば...

- ◇資料の拡大
- ◇ICレコーダー貸与 (視覚)
- ◇上映資料への字幕付け
- ◇DVD文字起こし
- ◇ノートテイクの配置
- ◇重要事項の板書 (聴覚)
- ◇滑り止め マット貸与
- ◇座席位置の配慮
- ◇試験時間延長
- ◇教室変更 (肢体不自由) など



↑ 面談室 2

受付から「支援」を受けるまでの流れは？

1受付:

・支援を希望する学生は「アクセシビリティ支援室」に連絡してください。裏面に記載されているメールアドレスでもご連絡いただけます。

2面談:

・面談は予約優先です。
・支援を必要としている現在の状況や具体的な要望内容について、スタッフが詳しく伺います。

3支援内容
決定:

・学生本人、アクセシビリティ支援室、教職員や関係部署等で協議をし、合理的配慮に基づく支援内容を決定します。

4支援開始後:

・決定した支援内容に基づいて支援が開始されますが、その後も支援内容を随時見直し、必要に応じて修正していきます。

“アクセシビリティ”とは何ですか？



アクセシビリティとは...

必要とする情報や資源・施設等に、障害の有無に関わらず誰もが容易にアクセスでき、誰もがそれを利用できることをいいます。

例えば...

- ・車椅子利用の方が、階段横のスロープを使う
- ・聴覚障害のある方が、ノートテイク支援を利用する

アクセシビリティ支援室は“個別の具体性・物理的な環境調整によって障壁を取り除く”ことを目指します。



P1

支援が必要な学生のために役に立ちたいのですが？

アクセシビリティ支援室では、障害のある学生への支援に関わる学生スタッフを、常時募集しています！

ノートテイク (授業中横に座って先生の話の文字化をする人) として聴覚障害のある学生への支援をする方をはじめ、様々な支援に関わる学生を必要としています。

関心のある方はぜひ支援室に問い合わせてください。

支援活動は全て有償です。



P4

P3